

シリーズ・同時代【海外編】スペシャルイベント

～ Our contemporary meets our contemporary ～

Special event 決定! 3月から5月の小劇場に熱い風が吹く!

3人の作家が来日、演出家とのトークをはじめ

舞台出演者と演出家が語るシアタートーク

そして国内未発表の海外現代戯曲の連続リーディング

新国立劇場では、「シリーズ・同時代【海外編】」の3作品——「昔の女」「シュート・ザ・クロウ」「タトゥー」——の公演に連動して、作家、翻訳家、演出家、俳優、研究者などの参加するトークや、海外最先端の戯曲を紹介するリーディング公演を多角的かつ集中的に同時開催します。まだ日本で翻訳発表されていない最新の海外戯曲も新国立劇場発として多くの演劇ファン、演劇関係者に向け、広く紹介いたします。どうぞ、ご期待ください。

公演中に各作品の作家が来日。舞台を観たあとのホットな時間に、演出家、翻訳家、研究者を

まじえて、作品の魅力や来日した作家の人物に迫ります。

毎回好評の新国立劇場版「シアタートーク」。

出演者と演出家の本音が炸裂します。

★シアター・トーク 特別編

3/14 作者 シンメルプフェニヒ × 演出 倉持 裕 × 翻訳 大塚 直

(土) (司会) 新野守広、鶴山仁
『昔の女』 昼公演終了後

4/11 作者 マカファーティ × 演出 田村孝裕 × 翻訳 浦辺千鶴 × 翻訳 小田島恒志

(土) (司会) 平川大作、鶴山仁
『シュート・ザ・クロウ』 昼公演終了後

5/17 作者 ローアー × 演出 岡田利規 × 翻訳 三輪玲子

(日) (司会) 佐藤康、鶴山仁
『タトゥー』 昼公演終了後

【昔の女】ローラント・シンメルプフェニヒ
Roland Schimmelpfennig

1967年、旧西ドイツ生まれ。ジャーナリストとしてイスタンブールに滞在後、ミュンヘンのオットー・ファルケンベルク演劇学校で演出を学び、同地のカンマーシュピーレにて演出助手／共同制作者を務める。96年より劇作活動を始め、ドイツ語圏の主要な劇場から依頼を受け、ロマン主義の感覚や映像メディアの手法を持ち込んだ斬新な演劇テキストを提供、ドイツではいま最も上演の多い現代劇作家であり、その作品は40カ国以上で公演されている。エルゼ・ラスカー＝シューラー奨励賞、シラー記念賞、ネストロイ賞を受賞。オペラ台本やラジオ放送劇も手がけるなど、極めて多彩・多作な作家である。

【シュート・ザ・クロウ】オーウェン・マカファーティ
Owen McCafferty

1961年、北アイルランド生まれ。08年に新版『アンティゴネ』の構成台本・演出を手がけたほか、近年ではナショナルシアターのロフト・シーズン『クロージング・タイム』や、同コッテスロー劇場で上演された『シーンズ・フロム・ザ・ビッグ・ピクチャー』（ジョン・ホワイティング賞、マイヤー・ウィットワース賞、イブニング・スタンダード賞、チャールズ・ウィンター賞）がある。05年の『酒とバラの日々』の舞台版はドンマー・ウェアハウスにて初演、何度か再上演されている。03年、マンチェスターでイギリス初演となった『シュート・ザ・クロウ』は、05年、ロンドンのトラファルガー・スタジオでの上演が高く評価された。

【タトゥー】デア・ローアー
Dea Loher

1964年、バイエルン州生まれ。90年、ベルリン芸術大学のシナリオ・ライティング・コースで台本を書き始め、劇作家の道を開く。92年『オルガの部屋』で鮮烈なデビュー、次作『タトゥー』をはじめ、立て続けに話題作を発表。演劇専門誌『シアター・ホワイテ』の年間最優秀新人劇作家に、93年『タトゥー』、94年『リバイアサン』で連続して選ばれ、ミュールハイム市演劇祭では『タトゥー』でゲーテ賞、『アダム・ガイスト』では劇作家賞に輝く。『オルガの部屋』で英ロイヤル・コート・シアターの劇作家賞を受賞し、ドイツ演劇を代表する新鋭劇作家として認知された。2006年にベルトルト・ブレヒト賞を受賞した。

- 芸術監督：鶴山 仁
- 協力：ドイツ文化センター
スリティッシュ・カウンシル
- 主催：新国立劇場情報センター
- 制作：新国立劇場



新国立劇場 小劇場 — THE PIT

入場無料

シアター・トークは
本シリーズそれぞれの
公演のチケットで
ご覧いただけます
(事前の申し込みは不要です)

シリーズ・同時代【海外編】スペシャルイベント

~ Our contemporary meets our contemporary ~

芸術監督 **鶴山 仁**

シリーズ・同時代【海外編】
スペシャルイベントに寄せて

新国立劇場では、07年4月から、ドイツ、フランス、イギリスの現代戯曲の最新情報にアクセスするため、月に一度「現代戯曲研究会」を開催してきました。その成果が「シリーズ・同時代【海外編】」につながったわけです。更に今回、当初の目的である情報発信と、翻訳上演の新しい可能性を探る試みをより深めるために、来日する3人の作家と、日本人演出家、翻訳家、現代戯曲研究会のメンバー（小田島恒志、佐藤康、新野守広、平川大作氏）のトーク、出演者を交えてのシアタートーク、「シリーズ・同時代 番外連続リーディング」等、シリーズの上演の期間中、様々な「出会い」を目論んでいます。

*ホームページには、現代戯曲研究会メンバーのレポートを掲載しています
(原稿は、演劇公演プログラムに掲載されたものです)。
<http://www.nntt.jac.go.jp/library/library/society.html>

「現代戯曲研究会」で取り上げた作品から、国内未発表の作品を連続リーディング上演。

3人の演出家と新国立劇場演劇研修所研修生の出演でお送りします。

入場無料

リーディングはシリーズ公演のチケットでご覧いただけます(事前の申し込みは不要です)

★番外連続リーディング

『アテンプツ・オン・ハー・ライフ』

作：マーティン・クリンプ 翻訳：平川大作 演出：北澤秀人
3月18日(水) 7:00 | 20日(金・祝) 6:00 | 21日(土) 6:00

●英劇界の今四半世紀において最も重要な実験作との評価もある『Attempts on Her Life』(1997)は、マーティン・クリンプ(1956-)の代表作。アン(あるいはアニー、アーニャ…)という女性を軸にしつつも、一貫性のある登場人物やプロットが存在しないバラバラの17の断片は、グローバル化した資本主義経済下の世界を丸ごと描出しようとする果敢な試みだ。

『最後の炎』

作：デア・ローアー 翻訳：新野守広 演出：森新太郎
4月15日(水) 7:00 | 18日(土) 6:00 | 22日(水) 7:00

●人間の深層を静かに見つめ、詩的なリアリズムで語る作風が高い評価を得ている女性劇作家デア・ローアー。08年に発表された『最後の炎』では、交通事故をきっかけに偶然知り合った男女の愛のゆくえが、コロスを駆使した斬新な文体で鮮烈に描かれている。ミュールハイム戯曲賞など多くの賞を受賞。

『タロットカードによる五重奏のモノローグ』

作：ミシェル・アザマ シルヴァン・ルヴェ ナタリー・パパン
ジャン=イヴ・ピック フランソワーズ・ピレ

翻訳：佐藤康 演出：鶴山仁
5月20日(水) 7:00 | 23日(土) 6:00 | 27日(水) 7:00

●感性も文体も、そして世代も異なる5人の作家によって書かれた旅立ち、喪失、出会い、届かぬ星。4つのテーマからなるモノローグ。すべてはタロットカードの寓意から着想されて無数のヴァリエーションを構成する。はたして今回の舞台ではどんなヴァージョンが実現するのか。あなたの意味への旅が始まる。

『シリーズ・同時代【海外編】』『昔の女』『シュート・ザ・クロウ』『タトゥー』のいずれかのチケットで入場可。シリーズ公演のチケット1枚で複数作品をご覧いただけます。

出演：新国立劇場演劇研修所研修生(三期生)

昔の女

	3/12 木	13 金	14 土	15 日	16 月	17 火	18 水	19 木	20 金	21 土	22 日
1:00			●★	●					●	●	●
2:00					休演		●☆				
6:00									Ⓡ	Ⓡ	
7:00	●	●				●	Ⓡ	●			

1/25(日)前売開始

★=14(土) 終演後、シアタートーク【特別編】
☆=18(水) 終演後、シアタートーク
Ⓡ=番外連続リーディングVol.1「アテンプツ・オン・ハー・ライフ」

シュート・ザ・クロウ

	4/10 金	11 土	12 日	13 月	14 火	15 水	16 木	17 金	18 土	19 日	20 月	21 火	22 水	23 木	24 金	25 土	26 日
1:00		●★	●☆						●	●						●	●
2:00				休演		●					休演		●				
6:00									Ⓡ								
7:00	●				●	Ⓡ	●	●				●	Ⓡ	●	●		

2/8(日)前売開始

★=11(土) 終演後、シアタートーク【特別編】
☆=12(日) 終演後、シアタートーク
Ⓡ=番外連続リーディングVol.2「最後の炎」

タトゥー

	5/15 金	16 土	17 日	18 月	19 火	20 水	21 木	22 金	23 土	24 日	25 月	26 火	27 水	28 木	29 金	30 土	31 日
1:00		●	●★						●	●						●	●
2:00				休演		●☆					休演		●				
6:00									Ⓡ								
7:00	●				●	Ⓡ	●	●				●	Ⓡ	●	●		

3/14(日)前売開始

★=17日(日) 終演後、シアタートーク【特別編】
☆=20(水) 終演後、シアタートーク
Ⓡ=番外連続リーディングVol.3「タロットカードによる五重奏のモノローグ」

●各公演チケット料金：A席4,200円/B席3,150円

■イベントのお問い合わせ
新国立劇場広報情報課 03-5351-3011(代)

■チケットのご予約
ボックスオフィス 03-5352-9999
Webボックスオフィス <http://ent-nntt.pia.jp/>



新国立劇場

小劇場 — THE PIT

東京都渋谷区本町1-1-1 [京王新線(都営新宿線乗入) 新宿駅より1駅、初台駅中央口直結]
<http://www.nntt.jac.go.jp/play/>